STANDARD LOCATION DIAGNOSIS / NEW OPENING STANDARD

出店候補地 標準立地診断

ロードイーツ 彩央中央一丁目候補地

ロードイーツ 彩央中央一丁目候補地は、幹線道路に面したロードサイド型の新規出店候補地です。新規出店候補として、生活商圏、昼間需要、交通導線、競合・補完施設を確認します。物件条件と投資前提は、提供資料と現地確認を重ねて判断しましょう。



SAMPLE

ロードイーツ 彩央中央一丁目候補地

彩央県彩央市中央一丁目2-3

作成日　2026-07-10
診断区分　出店候補地 標準立地診断
立地タイプ　ロードサイド型
標準商圏　半径500m / 半径1km / 半径2km

© ROGNALIA

このレポートの使い方

使い方

最初に判断ページで進める条件と保留条件を確認し、後半の商圏データブックで根拠を照合しましょう。

STEP 1
判断の方向を見る
総合サマリーと判断ゲートで、前提条件と論点を確認しましょう。

STEP 2
根拠を照合する
人口、働く人、競合、交通のカルテで数値の背景を読みましょう。

STEP 3
確認行動に変える
資料質問と現地確認を、次の判断期限までの行動に変えましょう。

この資料で分かること / 確認を残すこと

公開立地データで商圏・交通・周辺環境を揃えて比較します。物件条件、投資、運営体制、実際の進入性は提供資料と現地確認へ残し、公開情報だけで断定しません。

公開データ
立地条件を比較
人口、働く人、交通、施設、土地条件を同じ範囲で確認します。

提供資料
物件・事業条件を照合
契約、設備、投資、運営体制を確認します。

現地確認
利用可能性を確定
視認、進入、滞留、時間帯差を現地で確認します。

目次

02	総合サマリー	判断
03	判断ゲート	判断
04	対象地・商圏・立地タイプ	判断
05	主要判断材料: 生活商圏・昼間活動	判断
06	主要判断材料: 駅・交通・道路導線	判断
07	主要判断材料: 都市密度・周辺施設	判断
08	主要判断材料: 競合・制約	判断
09	周辺競合候補と補完施設	判断
10	公開レビュー・Webシグナル	判断
11	事業計画と立地条件の照合	確認・所見
12	質問リスト1: 不動産会社・貸主向け	確認・所見
13	質問リスト2: 事業・運営向け	確認・所見
14	現地確認チェックリスト	確認・所見
15	総合所見	確認・所見
16	読み合わせアジェンダ	確認・所見
17	標準商圏データブック: 範囲定義	商圏データブック
18	人口・世帯・人口ピラミッド	商圏データブック
19	年代別将来人口	商圏データブック
20	世帯・消費参考指標	商圏データブック
21	働く人・用務需要カルテ	商圏データブック
22	競合・補完施設カルテ	商圏データブック
23	交通・導線・土地リスクカルテ	商圏データブック
24	出典・推計処理	出典・ガイド
25	出典・制約・免責	出典・ガイド
26	関連ガイド	出典・ガイド

SAMPLE

SAMPLE

出店候補地 標準立地診断 総合サマリー

ロードイーツ 彩央中央一丁目候補地

公開立地スコア	総合ランク	公開データ充足	判断スタンス
62.8点	B	5 / 5	条件付きで前向き

強み
居住、昼間活動、幹線道路の三つが同じ方向を向いています。

注意
競合数だけでなく、利用場面と入出庫のしやすさを確認します。

未点数化
物件条件、初期投資、人員体制は公開立地評価に含めません。

居住人口と昼間活動の双方に厚みがあり、生活反復と用務需要を重ねて読める立地です。競合候補が複数あるため、入口視認性と店舗の役割を確認しましょう。

DELIVERY DEMAND

デリバリー需要の確認

公開データ参考評価 **6.2** /10 需要水準 中

配達圏世帯・夜間需要とも母数が厚く、デリバリーの土台は強い立地です

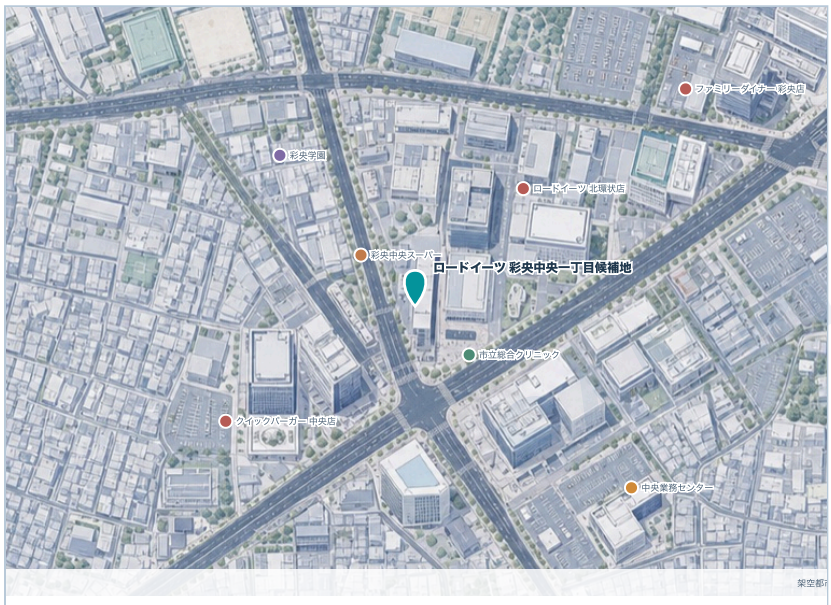
配達圏の世帯
半径1km 8,460世帯
少人数・即時利用を含む配達需要の母数を確認します。

夜間の需要母数
2025年 18,420人
夕食・夜間帯を含む生活需要の広がりを確認します。

店舗対応
デリバリー対応
提供サービスと配達範囲を店舗情報で確認します。

生活圏の需要	滞在・用務	配達流動性	近接店との重なり回避
	7.3/10	6.1/10	6.0/10

6.3/10



判断材料の位置関係を確認するため、対象地点、商圏円、道路、競合候補、補完施設を重ねています。

立地評価5項目

評価基準: 業態別立地評価（2026.07版）

人口・将来性	8 / 10	2025年人口に2040年の増減を加えて評価 18,420人 / 17,680人
昼間人口	7 / 10	昼間の用務・就業需要の厚みを評価 22,140人
駅乗降	4 / 10	最寄駅の乗降規模を評価 38,000人/日
道路交通	9 / 10	代表道路区間の交通規模を評価 28,400台/日
都市密度	7 / 10	周辺の都市集積と需要接点を評価 172

点数に混ぜない判断材料

追加参考データ 周辺施設・災害条件
利用場面と継続運営上の条件を補助解釈

確認事項 競合・契約・災害
点数へ混ぜず、資料と現地で別判定

強み

- 需要レーンが複数ある。居住、昼間活動、幹線道路の三つが同じ方向を向いています。
- 居住人口だけでなく、昼間活動の厚みも確認できます。将来人口は緩やかな減少を見込むため、客層の変化を含めて読みます。
- 道路交通の厚みは確認できますが、実際の店舗利用には進入方向、右左折、信号位置、平日・休日別のピーク時の入口滞留が影響します。

注意

- 競合と導線を分けて見る。競合数だけでなく、利用場面と入出庫のしやすさを確認します。
- 競合の存在は需要の証明にもなります。価格帯、利用時間、車での立寄りやすさを分け、同じ役割の店舗だけを競合として読みます。 災害条件は競合と同様に点数へ混ぜず、保険・避難・設備配置へ落として確認します。
- ピーク時の入口詰まりと退出待ちを、進行方向別・曜日別に見ます。

未点数化

- 契約・運営条件。物件条件、初期投資、人員体制は公開立地評価に含めません。
- 買物、医療、教育、業務施設が複数あり、単一目的ではない日常の反復来訪を見込める周辺構成です。
- 公開立地条件から、新規出店候補として次の確認段階へ進めるべきか

提供資料への質問

Page 12

- ☐ 専有・共用範囲、駐車区画、看板設置範囲はどこですか。
- ☐ 賃料、共益費、保証金、更新料、賃料改定条件はどうなっていますか。
- ☐ 契約期間、更新、途中解約、原状回復の条件はどうなっていますか。
- ☐ 入口・出口、外構、駐車場、看板を変更できる範囲はどこですか。

現地確認チェック

Page 14

- ☐ 主要方向からの視認
- ☐ 右左折の成立
- ☐ 持帰り動線
- ☐ 駐車回転

公開立地条件から、新規出店候補として次の確認段階へ進めるべきか

© ROGNALIA

判断ゲート



次の検討へ進む条件

公開スコアBは出店可否の結論ではなく、次の検討へ進むための現在地です。需要の厚み、物件・投資条件、現地でしか分からない進入性を分け、GO・保留・NO-GOの条件がどこにあるかを同じ順序で確認します。

GO寄り

主要時間帯の入出庫が成立

生活商圏と車需要を取り込める動線が現地で確認でき、重点時間帯の利用像を説明できる。

- 平日昼・夕方と休日昼に、主要進入方向から入口へ無理なく入れる
- 生活施設との往来が道路横断や駐車場分断で途切れない
- 公開データの需要厚みと、提供資料の時間帯別利用構成が整合する

保留

物件条件と投資前提の照合待ち

賃貸条件、工事負担、競合との役割を資料で分解し、判断を止めている前提を特定する。

- 賃料・保証金・契約期間・原状回復条件が資料上で確定していない
- 内外装・設備工事の時期と費用負担が投資回収へ与える影響を確認中
- 競合との役割差と想定利用場面を事業計画で照合できていない

NO-GO寄り

視認・進入の重大制約

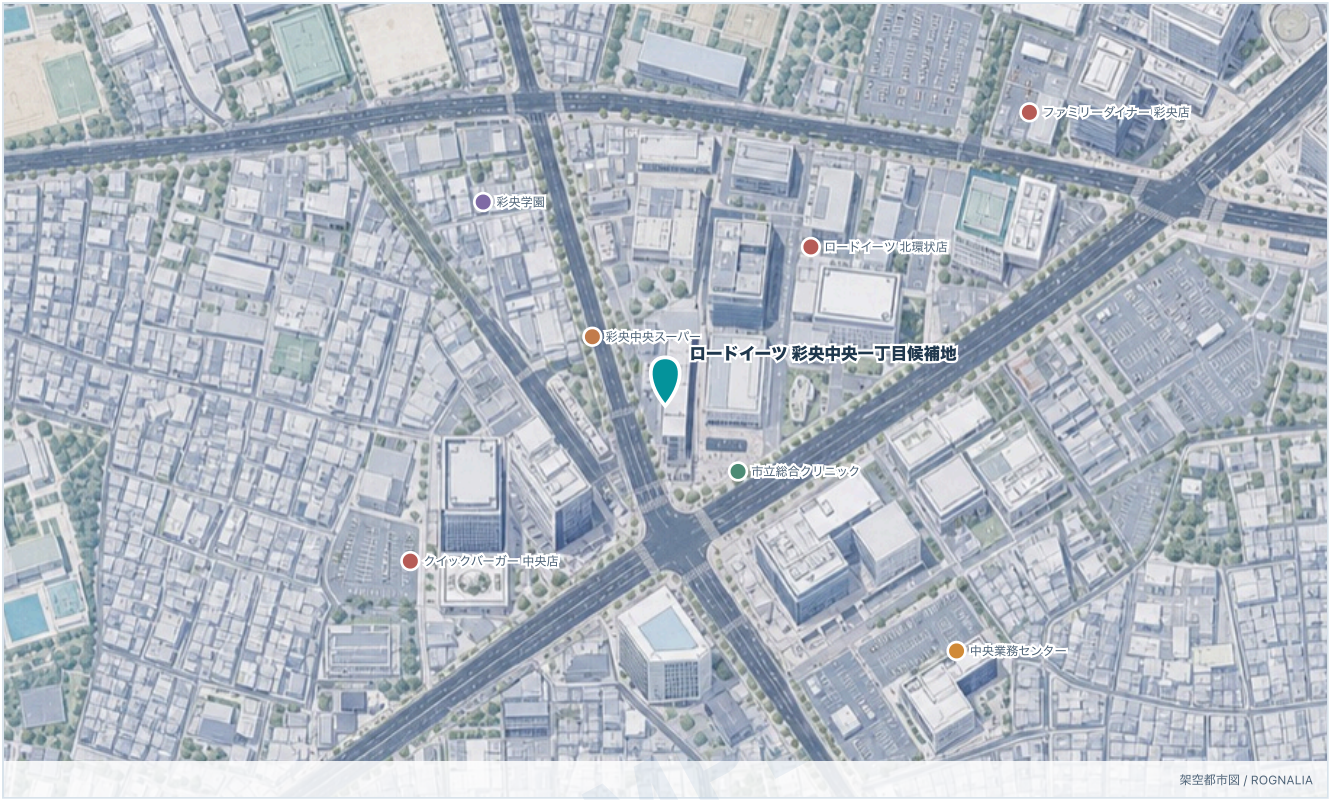
主要方向からの進入困難や恒常的な滞留が解消できず、需要を店舗利用へ変換しにくい。

- 主要需要方向から右折進入できず、現実的な迂回導線も成立しない
- 入口・駐車場の滞留がピーク時間帯に恒常化し安全面を損なう
- 賃料・工事・人員の固定負担が、立地上の強みで補えない水準になる

SAMPLE

対象地・商圏・立地タイプ

対象地と標準商圏



対象地点を中心に、500m・1km・2kmの標準商圏、主要道路、鉄道、生活施設、競合候補を同じ架空都市図へ重ねています。距離だけでなく、道路・鉄道・河川による分断と、需要が集まる方向を読み分けるための基礎図です。候補地比較では全地点を同じ縮尺・範囲で並べます。

地図で分かること / 分からないこと

地図で分かる

商圏と施設の位置関係

住宅、駅、幹線道路、鉄道、河川、競合候補、補完施設を同じ縮尺で重ね、方向別の需要接点と分断要因を確認できます。500mは徒歩・近隣反復、1kmは主要生活圏、2kmは車利用も含む広域参考として読み分け、単純な同心円人口だけでは見えない商圏の偏りを捉えます。

現地で見る

視認性と進入動線

植栽、看板、右左折、中央分離帯、勾配、時間帯別の滞留は地図だけでは確定できません。主要方向ごとに進入・退出を実走し、平日と休日、昼と夕方で入口の使われ方を確認します。競合前も同時刻に観察し、交通量ではなく実際に利用へ変わる導線を比較します。

標準の立地タイプ

立地タイプ	需要の主軸	今回の位置づけ
駅前ビルイン型	徒歩・駅利用	補助
ロードサイドDT型	車・生活反復	主
住宅地接点型	近隣生活需要	主
商業施設内型	施設来訪	補助
リロケート型	既存需要の移行	対象外

主要判断材料: 生活商圏・昼間活動

公開立地データを根拠・未確認・次の確認に分けて表示

2025年人口

立地評価 8 / 10



生活反復と用務需要を重ねやすい

根拠: 2025年人口 18,420人。半径1km推計。

公開データの確認結果

指標	18,420人	推計
範囲	半径1km	2025年

居住人口だけでなく、昼間活動の厚みも確認できます。将来人口は緩やかな減少を見込むため、客層の変化を含めて読みます。

立地評価 / 推計 / 半径1km推計

2040年人口

追加参考データ



生活反復と用務需要を重ねやすい

根拠: 2040年人口 17,680人。半径1km推計。

公開データの確認結果

指標	17,680人	推計
範囲	半径1km	2025/2040

居住人口だけでなく、昼間活動の厚みも確認できます。将来人口は緩やかな減少を見込むため、客層の変化を含めて読みます。

追加参考データ / 推計 / 半径1km推計

昼間人口

立地評価 7 / 10



生活反復と用務需要を重ねやすい

根拠: 昼間人口 22,140人。半径1km。

公開データの確認結果

指標	22,140人	推計
範囲	半径1km	2020年

居住人口だけでなく、昼間活動の厚みも確認できます。将来人口は緩やかな減少を見込むため、客層の変化を含めて読みます。

立地評価 / 推計 / 半径1km

SAMPLE

この項目の見方
居住需要と用務需要を同じ人口として扱いません。

資料で見る
朝・昼・夕方・夜の利用構成を確認します。

現地で見る
住宅側からの入りやすさと徒歩接点を見ます。

根拠・比較・未確認・次の確認

区分	確認内容	判断への影響	確認方法
根拠	居住人口と昼間人口の双方に厚み	生活反復と用務需要を重ねて読む	国勢調査・昼間人口を同一scopeで比較
比較	昼間人口が居住人口を上回る	昼の用務需要を独立して確認	時間帯別実績で照合
未確認	時間帯別の利用構成	提供資料で朝・昼・夕方・夜を確認	不動産会社・事業担当への質問
次の確認	住宅側からの徒歩・車動線	平日と休日で現地確認	同一位置・同一時間幅で記録

MEMO（生活商圏・昼間活動）

数値は立地の読み方を揃えるための補助表示です。契約・運営条件と分けて判断してください。

主要判断材料: 駅・交通・道路導線

公開立地データを根拠・未確認・次の確認に分けて表示

最寄駅距離

適合条件



幹線道路接点を主、駅を補助に読む

根拠: 最寄駅距離 640m。対象地点からの直線距離。

公開データの確認結果

指標	640m	取得済
範囲	対象地点	2026年

道路交通の厚みは確認できますが、実際の店舗利用には進入方向、右左折、信号位置、平日・休日別のピーク時の入口滞留が影響します。

適合条件 / 取得済 / 対象地点からの直線距離

駅乗降客数

立地評価 4 / 10



幹線道路接点を主、駅を補助に読む

根拠: 駅乗降客数 38,000人/日。最寄駅 / 1日。

公開データの確認結果

指標	38,000人/日	取得済
範囲	最寄駅	2024年

道路交通の厚みは確認できますが、実際の店舗利用には進入方向、右左折、信号位置、平日・休日別のピーク時の入口滞留が影響します。

立地評価 / 取得済 / 最寄駅 / 1日

前面道路交通量

立地評価 9 / 10



幹線道路接点を主、駅を補助に読む

根拠: 前面道路交通量 28,400台/日。代表区間 / 日交通量。

公開データの確認結果

指標	28,400台/日	取得済
範囲	対象地点	2021年

道路交通の厚みは確認できますが、実際の店舗利用には進入方向、右左折、信号位置、平日・休日別のピーク時の入口滞留が影響します。

立地評価 / 取得済 / 代表区間 / 日交通量

SAMPLE

この項目の見方

交通量だけで評価を上げません。

資料で見る

代表区間が対象地点と同じ導線かを確認します。

現地で見る

ピーク時の入口詰まりと退出待ちを、進行方向別・曜日別に見ます。

根拠・比較・未確認・次の確認

区分	確認内容	判断への影響	確認方法
根拠	代表区間の日交通量を確認	車需要の厚みを補助評価	道路交通センサスの区間・年次を確認
比較	駅は徒歩補助圏	駅需要を主軸にしない	駅距離と乗降規模を別々に確認
未確認	入口別の右左折と信号待ち	交通量を利用可能性へ変換できるか	方向別の実走・定点観察
次の確認	朝・昼・休日の入口滞留	方向別に現地記録	15分単位で待機台数を記録

MEMO（駅・交通・道路導線）

数値は立地の読み方を揃えるための補助表示です。契約・運営条件と分けて判断してください。

主要判断材料: 都市密度・周辺施設

公開立地データを根拠・未確認・次の確認に分けて表示

都市密度

立地評価 7 / 10



生活施設と用務先が近接

根拠: 都市密度 172。業態profile入力。

公開データの確認結果

指標	172	推計
範囲	半径1km	2020年

買物、医療、教育、業務施設が複数あり、単一目的ではない日常の反復来訪を見込める周辺構成です。

立地評価 / 推計 / 業態profile入力

補完施設

追加参考データ



生活施設と用務先が近接

根拠: 補完施設 17件。半径1km公開施設。

公開データの確認結果

指標	17件	取得済
範囲	半径1km	2026年

買物、医療、教育、業務施設が複数あり、単一目的ではない日常の反復来訪を見込める周辺構成です。

追加参考データ / 取得済 / 半径1km公開施設

事業所数

追加参考データ



生活施設と用務先が近接

根拠: 事業所数 1,260。経済センサスから商圏換算。

公開データの確認結果

指標	1,260	推計
範囲	半径1km	2021年

買物、医療、教育、業務施設が複数あり、単一目的ではない日常の反復来訪を見込める周辺構成です。

追加参考データ / 推計 / 経済センサスから商圏換算

SAMPLE

この項目の見方
補完施設が来訪理由を増やすかを確認します。

資料で見る
店舗の重点時間帯と重なるかを照合します。

現地で見る
道路横断や駐車場の分断を確認します。

根拠・比較・未確認・次の確認

区分	確認内容	判断への影響	確認方法
根拠	生活施設と事業所が近接	複数の来訪理由を確認	施設個票と経済センサスを重ねる
比較	生活利便と業務用務が混在	時間帯ごとの需要を分ける	施設カテゴリ別に営業時間を確認
未確認	施設間の実際の回遊	道路横断と駐車場分断を確認	歩行・車の移動経路を現地観察
次の確認	主要施設の営業時間とピーク	店舗の重点時間帯と照合	公式情報と現地の稼働を照合

MEMO（都市密度・周辺施設）

数値は立地の読み方を揃えるための補助表示です。契約・運営条件と分けて判断してください。

主要判断材料: 競合・制約

公開立地データを根拠・未確認・次の確認に分けて表示

競合候補

確認事項



需要証明と役割重複の両面

根拠: 競合候補 9件。半径1km。

公開データの確認結果

指標	9件	取得済
範囲	半径1km	2026年

競合件数は需要集積の証拠でもあるため、役割と利用時間を分けて検証します。

確認事項 / 取得済 / 半径1km

補完施設

追加参考データ



需要証明と役割重複の両面

根拠: 補完施設 17件。半径1km。

公開データの確認結果

指標	17件	取得済
範囲	半径1km	2026年

生活・医療・商業の来訪接点として読み、来店機会の重なりを確認します。

追加参考データ / 取得済 / 半径1km

浸水想定

確認事項



需要証明と役割重複の両面

根拠: 浸水想定 0.5m。公開ハザード。

公開データの確認結果

指標	0.5m	取得済
範囲	対象地点	2026年

公開ハザードは需要スコアと分け、保険・避難・設備配置の確認条件にします。

確認事項 / 取得済 / 公開ハザード

SAMPLE

この項目の見方
同じ商圏でも利用場面が異なる施設を分けます。

資料で見る
近隣店との役割と商圏重複を確認します。

現地で見る
視認性、入店方向、駐車しやすさを比較します。

根拠・比較・未確認・次の確認

区分	確認内容	判断への影響	確認方法
根拠	競合候補と補完施設を役割別に整理	需要証明と役割重複を分ける	施設カテゴリ・距離・営業時間で分類
比較	直接競合と短時間利用の代替を分離	件数だけで過密と断定しない	同時刻・同一進入方向で比較
未確認	重点時間帯の選ばれ方と浸水時運用	価格・待ち時間・進入性・復旧条件を確認	提供資料・現地・ハザードを照合
次の確認	競合店前と対象地の導線比較	同じ時間帯に現地確認	平日昼・夕方・休日昼で反復

MEMO（競合・制約）

数値は立地の読み方を揃えるための補助表示です。契約・運営条件と分けて判断してください。

周辺競合候補と補完施設

周辺施設の役割整理

区分	主な候補	読み方
直接競合	ロードイーツ系 3店	価格帯・時間帯・車利用が近い
間接競合	カフェ・惣菜 6店	短時間利用と持帰りで重なる
補完施設	スーパー・医療・教育 17件	生活動線と用務需要を支える
需要証明	商業集積・業務施設	来訪理由が複数ある

周辺競合候補

候補	距離	主な役割	確認ポイント
ロードイーツ 北環状店	**430m**	車・短時間利用	進入方向とピーク待ち時間
クイックバーガー 中央店	**720m**	買物ついで	価格帯と持帰り比率
ファミリーダイナー 彩央店	**860m**	家族・滞在	休日昼の選ばれ方
駅前カフェ 彩央口店	**940m**	徒歩・朝需要	駅利用との役割差
テイクデリ 彩央南店	**980m**	持帰り・夕食需要	夕方の価格帯と受取導線

補完施設（来訪理由をつくる施設）

施設	距離	需要接点	確認ポイント
彩央中央スーパー	**180m**	日常買物	買物前後の立寄り
市立総合クリニック	**360m**	医療用務	平日午前・午後の流れ
彩央学園	**510m**	通学・家族	放課後と休日行事
中央業務センター	**690m**	就業・訪問	昼食と業務前後
彩央スポーツパーク	**820m**	休日・夕方利用	大会日と通常日の需要差

SAMPLE

追加確認

件数ではなく、同じ時間帯・価格帯・進入方向で役割が重なる施設を比較します。競合が近いことは需要の存在を示す材料にもなるため、距離だけで減点せず、誰が・いつ・何のために選ぶ店舗かを分解しましょう。

資料

競合との役割差

事業計画で価格帯・利用場面・重点時間帯・店内外チャネルの違いを照合し、対象店の選ばれる理由を一文で説明できる状態にしましょう。

現地

同時刻比較

対象地と競合前を平日昼・夕方・休日昼の同じ時間帯に観察し、入庫方向、待ち時間、持帰り比率、周辺施設との回遊を同じ書式で比べましょう。

MEMO（競合候補・補完施設）

公開レビュー・Webシグナル

公開情報から見える現在地

対象地周辺では生活利便施設の更新、道路工事の告知、営業時間に関する投稿が複数時点で確認されています。公開レビューは来店実績の代替ではなく、利用場面・運営課題・周辺変化を探す入口として扱います。単発の高評価・低評価や話題量を需要実績と同一視せず、公式告知、地図情報、複数時点の投稿で方向が重なる材料だけを次の確認へ残します。

レビュー
利用場面の傾向
朝の持帰り、平日昼の短時間用務、週末の家族利用に関する記述を分けて読みます。混雑や待ち時間は時間帯・曜日と対にし、立地需要と店舗運営のどちらに由来するかを切り分けます。

周辺変化
生活施設の更新
周辺施設の開閉店、改装、営業時間変更と、道路工事・交通規制の開始終了時期を継続確認します。工事中だけの変化か、完成後も残る導線変更かを区別します。

制約
公開情報の限界
候補地の将来売上、客数、チャネル構成、契約条件、人員体制は公開情報では判断しません。投稿者属性や重複投稿も確定できないため、頻度の集計より確認テーマの抽出を優先します。

出店判断前に確認したい周辺材料

道路
環状道路の工事・規制
主要方向の車線規制、右左折制限、工事時間帯を公式告知で確認し、完成後に入口への進入方向が変わるかを図面と現地で照合します。

商業
生活施設の入替
スーパー、飲食、サービス施設の開閉店と営業時間変更を追い、対象店と同じ時間帯に来訪理由を生む施設か、単なる近接施設かを分けます。

教育
学校・家族動線
学校の通常日、行事日、長期休暇で放課後・休日の流れがどう変わるかを確認し、歩行者動線と保護者の車動線を別に観察します。

医療・業務
用務需要の時間帯
医療・業務施設の受付時間、昼休み、終業前後を照合し、平日昼と夕方に短時間利用が生まれる時間窓を現地で確認します。

直近で確認すること

単発の話題ではなく、複数時点・複数ソースで反復する変化だけを出店判断へ残します。公開情報の記述は事実、投稿者の感想、こちらの推論を混ぜずに記録し、提供資料または現地確認で確かめる項目へ変換しましょう。

反復
同じ傾向が続いているか
直近6〜12か月の公式更新、地図情報、公開投稿を月別に並べ、同じ利用場面や不便が別の時点にも現れるかを照合しましょう。

運営影響
営業時間・提供条件の変化
営業時間変更、休業、改装、提供方法の変更が一時的か恒常的かを確認し、出店時点に残る課題と解消済みの課題を分けましょう。

周辺変化
工事・施設更新の時期
工事・施設更新の開始日、終了予定、供用開始日を公式情報で確認し、主要進入方向、視認性、周辺回遊への影響を時点別に整理しましょう。

SAMPLE

事業計画と立地条件の照合

公開立地評価を物件・事業条件へつなぐ

公開データで確認した需要・交通・競合の読みを、物件、投資、店舗役割、運営体制の4領域へ接続します。立地スコアが良くても、入口変更不可、設備容量不足、工事負担、重点時間帯の人員不足があれば判断は変わります。資料名だけで確認済みにせず、回答の根拠となる図面・条件表・担当者を残しましょう。売上計画と物件資料で数字が一致しない場合は、どちらかへ合わせず、算定範囲・基準日・税込税別・工事区分を分解します。未回答はゼロ扱いにせず、確認先と回答期限を付けて判断保留として残しましょう。

提供資料で確認する4領域

確認領域	見る資料	判断への影響	確認質問
物件 / 利用範囲	物件概要・配置図	用途、面積、駐車、接道を確認する	利用できる範囲と共用部分はどこですか。
物件 / 設備	図面・設備容量資料	出店に必要な設備容量を確認する	電気、給排水、空調、消防の容量は確認できますか。
固定費・投資 / 賃貸条件	賃貸借条件・費用一覧	固定費、更新、出口条件を確認する	更新・解約・原状回復条件はどうなっていますか。
固定費・投資 / 工事	工事見積・工程表	初期投資と開業時期を確認する	内外装・設備工事の負担区分と期限は確認できますか。
店舗役割 / 商圏	事業計画・顧客仮説	競合との役割差を確認する	誰が、どの時間帯に、何のために利用しますか。
店舗役割 / 利用	商品・サービス・営業時間案	立地の需要レーンと営業計画を照合する	時間帯・曜日・チャネル別の狙いを確認できますか。
運営体制 / 人員	採用計画・シフト案	重点時間帯を運営できるかを見る	責任者とピーク時間帯の人員を確保できますか。
意思決定 / 条件	投資基準・承認日程	進める条件と期限を揃える	出店判断の必須条件、承認者、期限は何ですか。

SAMPLE

MEMO（提供資料の確認結果）

質問リスト1: 不動産会社・貸主向け

不動産会社・貸主へ聞く

01 QUESTION

専有・共用範囲、駐車区画、看板設置範囲はどこですか。

なぜ確認するか

営業に使える範囲と変更できる範囲を分け、看板・駐車・外構計画が契約後に崩れないようにするため。

02 QUESTION

賃料、共益費、保証金、更新料、賃料改定条件はどうなっていますか。

なぜ確認するか

初期費用と継続固定費を同じ前提で整理し、想定売上に対する固定費負担を判断できるようにするため。

03 QUESTION

契約期間、更新、途中解約、原状回復の条件はどうなっていますか。

なぜ確認するか

出店後に動かせない固定期間と出口条件を確認し、撤退・移転時の負担まで投資判断へ含めるため。

04 QUESTION

入口・出口、外構、駐車場、看板を変更できる範囲はどこですか。

なぜ確認するか

視認性と進入性を改善できる余地を確認し、公開地図上の強みを実際の利用動線へ変えられるか判断するため。

05 QUESTION

電気、給排水、空調、消防、排気の容量と更新履歴は確認できますか。

なぜ確認するか

業態に必要な設備容量と追加工事の範囲を確認し、工期・費用・開業日の前提を確定するため。

06 QUESTION

右左折、搬入、共用通路について管理上の制約はありますか。

なぜ確認するか

公開地図では分からない時間帯別の利用条件を確認し、搬入と来店動線が競合しないかを見極めるため。

07 QUESTION

漏水、停電、臭気、騒音、近隣トラブルの履歴はありますか。

なぜ確認するか

反復する物件・近隣リスクと過去の対応履歴を把握し、営業継続に影響する未確認事項を残さないため。

08 QUESTION

契約、工事、引渡し、開業までの期限と承認事項は何ですか。

なぜ確認するか

確認順、責任者、承認期限を揃え、契約・工事・採用の手戻りで開業時期がずれないようにするため。

追加で深掘りする条件

追加工事、利用制約、契約上の固定負担、近隣トラブルのいずれかがあれば、回答根拠となる図面・契約案・履歴資料まで確認しましょう。

MEMO（不動産会社・貸主からの回答）

質問リスト2: 事業・運営向け

事業・運営条件を聞く

01 QUESTION

想定顧客と主要な利用場面は、曜日・時間帯ごとにどう違いますか。

なぜ確認するか

立地が支える需要と営業計画を照合し、朝・昼・夕方・休日それぞれの売上の作り方を明確にするため。

02 QUESTION

売上計画の客数、客単価、立ち上がり期間の前提は何ですか。

なぜ確認するか

予測値を鵜呑みにせず、客数・客単価・立ち上がり期間を確認できる前提へ分解するため。

03 QUESTION

競合と比べて、価格帯・商品・利用時間をどう分けますか。

なぜ確認するか

近接競合との役割差を確認し、同じ需要を奪い合うのか、異なる利用場面を取れるのか判断するため。

04 QUESTION

店内、持帰り、モバイル、デリバリーの構成をどう想定していますか。

なぜ確認するか

立地需要と必要な運営負荷を分け、入口・駐車・受渡しスペースが想定構成に耐えられるか確認するため。

05 QUESTION

責任者、採用、教育、ピーク時間帯のシフトは成立しますか。

なぜ確認するか

立地の強みを利用実績へ変える体制を確認し、重点時間帯に品質や提供速度を落とさないようにするため。

06 QUESTION

初期投資、固定費、追加工事、予備費をどこまで見込んでいますか。

なぜ確認するか

立地評価と投資判断を混ぜずに確認し、立地の良さだけで追加費用を正当化しないため。

07 QUESTION

現地で確認する時間帯、方向、比較地点は決まっていますか。

なぜ確認するか

視認、進入、滞留、回遊を同じ条件で記録し、印象ではなく時間帯・方向別の比較材料を残すため。

08 QUESTION

出店判断の必須条件、承認者、期限は何ですか。

なぜ確認するか

追加確認の優先順位、担当責任者、社内承認者、最終判断日を揃え、未確認のまま契約工程だけが先に進むのを防ぐため。

追加で深掘りする条件

進入変更不可、看板制約、設備更新時期不明、営業時間制限、災害復旧条件不明のいずれかがあれば、契約条項と図面まで確認しましょう。

MEMO（物件・運営条件の回答）

SAMPLE

現地確認チェックリスト



- ☐ **朝の通勤・通学**
  平日 7:00-9:00
  主要方向からの視認 / 右左折の成立 / 持帰り動線

- ☐ **昼の用務需要**
  平日 11:30-14:00
  駐車回転 / 入口滞留 / 周辺施設からの回遊

- ☐ **放課後・夕方**
  平日 15:00-18:00
  学生・家族動線 / 買物前後 / 道路混雑

- ☐ **夜の帰宅需要**
  平日 19:00-22:00
  視認性 / 退出方向 / 照明・看板

- ☐ **家族・買物需要**
  休日 11:00-15:00
  家族利用 / 駐車待ち / 周辺施設との回遊

- ☐ **天候差**
  雨天・悪天候
  歩行導線 / 車寄せ / 排水・冠水

- ☐ **選ばれ方の比較**
  競合と同時刻
  待ち時間 / 進入性 / 利用場面

- ☐ **運営成立性**
  店内・バックヤード
  受渡し導線 / 席・待機 / 設備・人員動線

SAMPLE

現地で残す記録

感覚だけで終わらせず、写真・件数・方向を同じ書式で残します。対象地だけでなく競合前も同じ時間帯に確認し、平日と休日、晴天と雨天、進入方向ごとの差を比較できる記録にしましょう。

PHOTO

写真番号と撮影方向

入口、看板、右左折、駐車待ちを、写真番号・撮影位置・向きが分かる形で記録します。朝夕で見え方が変わる看板は同じ方向から撮り比べます。

COUNT

5分単位の通過・入庫数

通過車両、入庫車両、歩行者、自転車を同じ5分単位で数えます。総数だけでなく進行方向と入庫率を残し、時間帯別に比較します。

RECHECK

再確認する条件

雨天、夕方、競合ピーク、周辺施設のイベント日など、判断が変わる条件は再訪します。見送った理由も残し、後日の候補比較に使います。

MEMO（現地確認時の書き込み用）

総合所見



条件付きで詳細検討を継続

条件付きで詳細検討を継続する立地です。

ロードイーツ 彩央中央一丁目候補地は、半径1kmの居住人口と昼間人口、幹線道路交通、生活施設の近接を重ねて読む商業近接ロードサイド型です。公開地理条件だけで出店可否を決めるのではなく、生活反復と用務需要の双方を取り込める入口・駐車・視認の成立を確認することで、次の検討へ進める立地と読めます。

競合候補は需要証明である一方、価格帯と利用時間が近い店舗とは役割が重なります。2040年に向けて総人口は緩やかに減少し、高齢層の構成比が上がるため、現在の利用場面だけで将来を固定しません。交通量は代表区間の観測であり、対象入口の入りやすさを示す値ではないため、現地の導線と重ねて判断しましょう。

不動産会社・貸主資料では賃貸条件、工事負担、設備容量、利用制約を確認します。現地では平日朝・昼と休日午後に、主要方向からの視認、右左折、入口滞留、駐車回転、周辺施設からの回遊を記録し、事業計画と合わせて保留事項を解消しましょう。

SAMPLE

所見の読み方

1. 診断目的、業態、対象地と公開情報の範囲を先に確認する。
2. 主要判断材料から、立地型と判断の方向性を確認する。
3. 商圏データで人口、働く人、競合、交通、土地リスクを重ねて読む。
4. 残った論点を、提供資料と現地確認の行動に分ける。

本所見は公開情報、取得データ、提供情報をもとにした診断補助であり、業績、投資回収、契約成立を保証するものではありません。

MEMO（読み合わせ時の書き込み用）

現地確認で気になったこと

提供資料で照合すること

次回判断・保留条件

読み合わせアジェンダ

読み合わせの進行

30分版

時間	進行
0-5分	検討目的と結論
5-12分	判断ゲートと主要材料
12-20分	商圏データの要点
20-27分	資料質問と現地確認
27-30分	次アクション

60分版

時間	進行
0-10分	検討目的・前提・資料範囲
10-25分	判断ゲートと主要材料4項目
25-40分	人口・働く人・競合・交通カルテ
40-52分	資料質問・現地確認の優先順位
52-60分	担当・期限・保留条件を確定

SAMPLE

MEMO（合意した次アクション）

SAMPLE

標準商圏データブック: 範囲定義



近接範囲 推計
4,605人
徒歩・近隣反復を見る半径500m

標準主範囲 推計
18,420人
人口・世帯・働く人をそろえる半径1km

広域参考 推計
64,200人
車需要と周辺集積を見る半径2km

行政・比較範囲 取得済
13,101
行政値を距離圏と混ぜない比較範囲

範囲の役割

範囲	役割	主な確認	精度・注意
対象地点	物件・店舗の中心	住所、道路、入口、施設接点	座標と現地入口を分けて確認
500m	近接参考	徒歩・入口・近接施設	メッシュ端の影響が大きい
1km	標準主範囲	人口・世帯・働く人・競合	標準比較の主scope
2km	広域参考	車需要・周辺集積・ネットワーク	実移動時間とは一致しない

取得状況と基準年

領域	主な基準年		状態	読み方
人口・世帯		**2020**	推計	500mメッシュから商圏換算
将来人口	2025 / 2040		推計	将来人口メッシュから商圏換算
働く人		**2021**	推計	経済センサスから商圏換算
施設・交通	2021-2026		取得済	施設個票・道路区間を直接確認
地価・災害		**2026**	取得済	近接標準地と対象地点の公開ハザードを確認

HOW TO READ
このデータをどう読むか

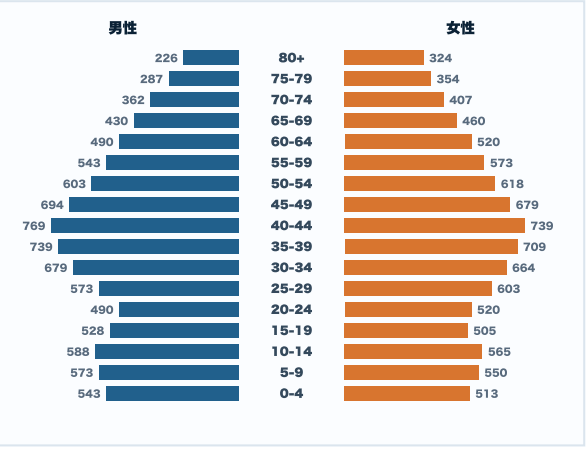
1kmを主範囲として生活反復と用務需要を読み、500mは入口や近接施設、2kmは車需要と広域集積の補助確認に使います。人口・世帯・従業者は統計メッシュから距離圏へ換算した推計値で、駅乗降・道路交通・地価は地点や区間の公開値です。分母と基準年をそろえずに単純比較せず、QSRでは道路導線、来訪目的、重点時間帯を重ねて判断します。商圏円は来店範囲の断定ではなく、同じ基準で候補地を比較するための共通物差しです。河川・鉄道・幹線道路をまたぐ方向は、同じ距離でも利用可能性が異なるため、方角別に現地導線を確認して使いましょう。

SAMPLE

人口・世帯・人口ピラミッド

居住人口	世帯数	65歳以上	昼間人口
推計	推計	推計	推計
18,420人	8,460世帯	2,850人	22,140人
半径1km	半径1km	半径1km / 構成比15.5%	半径1km

男女別5歳階級人口



2020年国勢調査の男女別5歳階級を、500mメッシュから半径1kmへ面積按分した構成です。

年齢構成・半径別集計

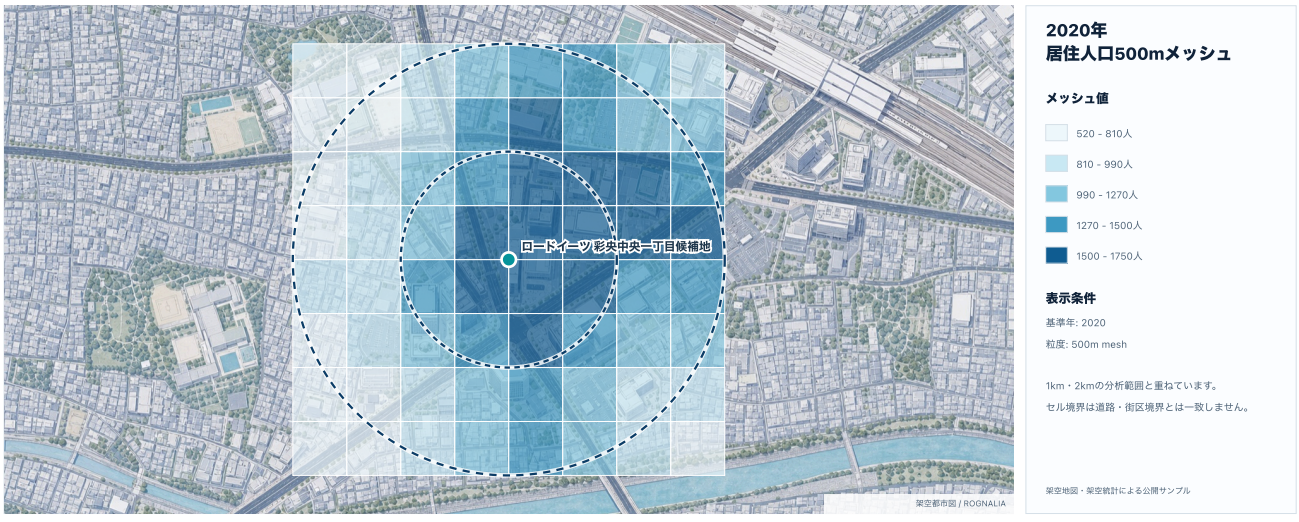
AGE COMPOSITION

0-14歳	3,332人	18.1%
15-64歳	12,238人	66.4%
65歳以上	2,850人	15.5%
75歳以上	1,191人	6.5%

RING SUMMARY

指標	500m	1km	2km
夜間人口	4,605人 精度目安:低	18,420人 精度目安:中	64,200人 精度目安:中
世帯数	2,115世帯 精度目安:低	8,460世帯 精度目安:中	28,750世帯 精度目安:中
0-14歳	840人 精度目安:低	3,332人 精度目安:中	11,350人 精度目安:中
65歳以上	690人 精度目安:低	2,850人 精度目安:中	10,500人 精度目安:中
昼間人口	5,650人 精度目安:低	22,140人 精度目安:中	74,300人 精度目安:中

人口メッシュ主題図



2020年国勢調査の500mメッシュを対象地点と商圏円に重ねた構成です。

HOW TO READ
このデータをどう読むか

人口総数だけでなく、年齢構成、世帯数、昼間人口を重ねて利用場面を分けます。QSRでは居住需要を反復利用の土台として読み、昼の用務需要や家族構成が実際の時間帯別利用へつながるかを現地と提供資料で確認しましょう。

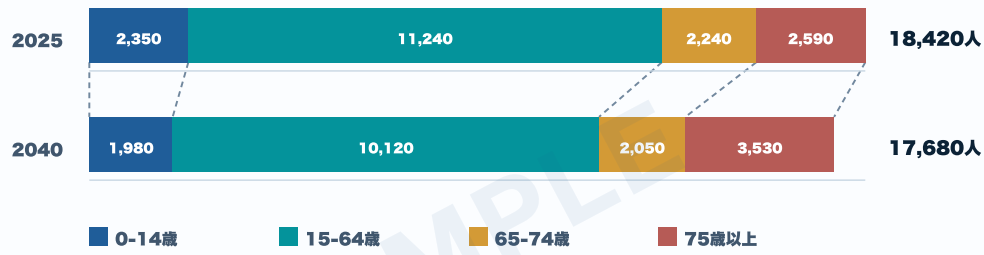
SAMPLE

年代別将来人口



2025年人口	2040年人口	2025-2040増減	2040年65歳以上
推計	推計	推計	推計
18,420人	17,680人	-4%	31.6%
半径1km	半径1km推計	半径1km	半径1km構成比

2025年と2040年の年代別構成



SAMPLE

年代別増減と広域補完

範囲・年代	2025	2040	増減
0-14歳 / 1km	2,350人	1,980人	-370人
15-64歳 / 1km	11,240人	10,120人	-1,120人
65-74歳 / 1km	2,240人	2,050人	-190人
75歳以上 / 1km	2,590人	3,530人	+940人
総人口 / 1km	18,420人	17,680人	-4%
総人口 / 2km	64,200人	61,500人	-4.2%

1kmと2kmの将来構成比較

比較項目	半径1km	半径2km	判断への使い方
2025年総人口	18,420人	64,200人	現在に近い需要母数をscope別に確認
2040年総人口	17,680人	61,500人	将来の生活圏全体の厚みを比較
2025-2040増減率	-4%	-4.2%	近接圏と広域圏の減少差を確認
0-14歳構成	12.8% → 11.2%	13.1% → 11.7%	家族利用の母数変化を補助確認
15-64歳構成	61.0% → 57.2%	60.8% → 57.9%	就業・移動需要の変化を確認
75歳以上構成	14.1% → 20.0%	13.5% → 18.9%	短時間・生活用務需要への対応を確認

HOW TO READ

将来構成の読み方

総人口は緩やかに減少する一方、75歳以上の比率は上がります。QSRでは人口減少だけで一律に下げず、短時間利用、生活用務、車での立寄りやすさが将来の客層変化に対応できるかを確認しましょう。

世帯・消費参考指標



一般世帯	平均世帯人員	2人以上世帯	調理食品支出
推計	推計	推計	参考
8,460世帯	2.18人/世帯	63.6%	106
半径1km	半径1km推計	半径1km構成比	行政区指数 / 参考

世帯特性

指標	値	読み方	確認先
一般世帯	**8,460世帯**	商圏内の世帯母数	国勢調査
平均世帯人員	2.18人/世帯	少人数・家族利用の構成確認	世帯人員別集計
2人以上世帯比率	**63.6%**	複数人利用の参考	世帯類型集計
単身世帯	**3,080世帯**	短時間・少量利用の参考	世帯人員別集計
2人世帯	**2,460世帯**	日常の複数人利用の参考	世帯人員別集計
3人世帯	**1,410世帯**	親子・家族利用の参考	世帯人員別集計
4人以上世帯	**980世帯**	休日・複数人利用の参考	世帯人員別集計
高齢単身世帯	**760世帯**	生活用務・近距離利用の参考	年齢・世帯類型集計

消費支出参考指標

行政区参考指標	指数	使い方	注意
調理食品	**106**	持帰り・日常利用の参考	店舗売上の推計には使わない
外食	**103**	外食機会の広域参考	行政区平均で商圏値ではない
食料全体	**101**	生活支出の基礎参考	価格帯差を含む
宅配・配達	**108**	配達需要の補助参考	アプリ実績とは別指標
飲料	**103**	日常の追加購入機会の参考	行政区指数
菓子類	**101**	間食・家族利用の補助参考	行政区指数
交通・通信	**105**	移動頻度の広域参考	来店数とは直結しない
教養娯楽	**99**	休日外出機会の補助参考	行政区指数

HOW TO READ
このデータをどう読むか

世帯構成は客単価の推計値ではなく、利用人数と利用場面を考える補助材料です。単身・少人数世帯は短時間や持帰り、複数人世帯は家族利用の可能性として読み、実際の時間帯別構成は提供資料で照合しましょう。

SAMPLE

働く人・用務需要カルテ

従業者数	事業所数	昼間人口	昼夜間比
推計	推計	推計	推計
15,340人	1,260	22,140人	120.2%
半径1km換算	半径1km換算	半径1km換算	昼間人口 ÷ 夜間人口

事業所数 上位業種

卸売・小売	310所
医療・福祉	210所
宿泊・飲食	185所
生活関連	140所
教育	96所
不動産・物品賃貸	82所
建設	74所

卸売・小売、医療・福祉、宿泊・飲食の上位3業種で705事業所、全1,260事業所の56.0%を占めます。買物・通院・飲食という複数の用務が近接する構成で、平日昼だけに依存しない来訪理由があります。

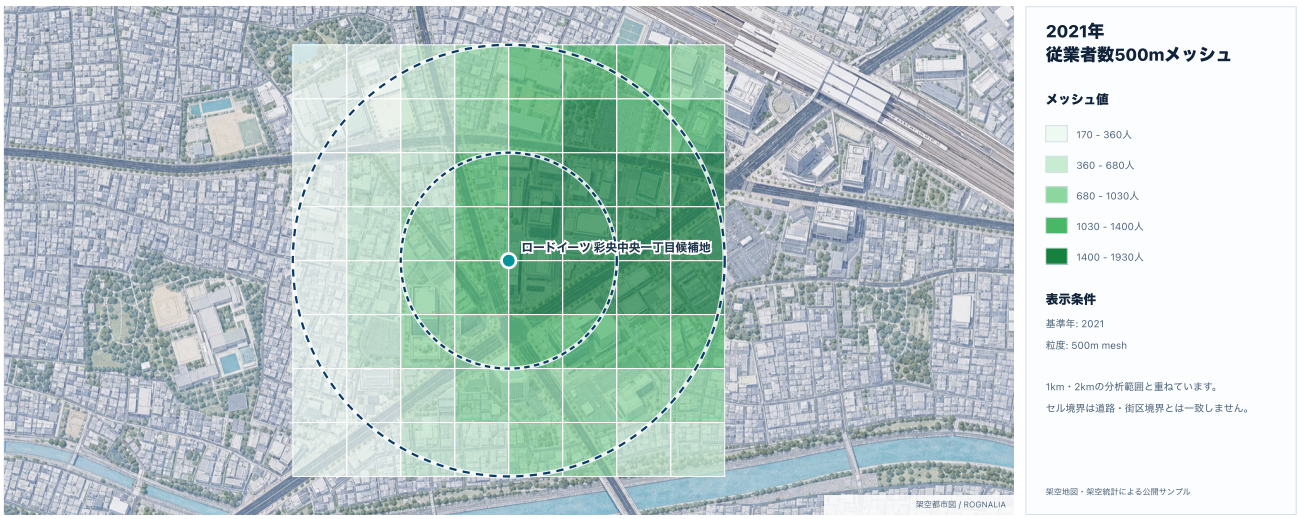
従業者数 上位業種

卸売・小売	4,210人
医療・福祉	2,880人
製造	2,310人
宿泊・飲食	1,640人
教育	980人
運輸・郵便	860人
生活関連	720人

卸売・小売、医療・福祉、製造、宿泊・飲食の上位4業種で11,040人、全15,340人の72.0%を占めます。昼食需要に加え、交代勤務・業務前後・持帰り需要を時間帯別に確認する構成です。

SAMPLE

従業者数メッシュ主題図

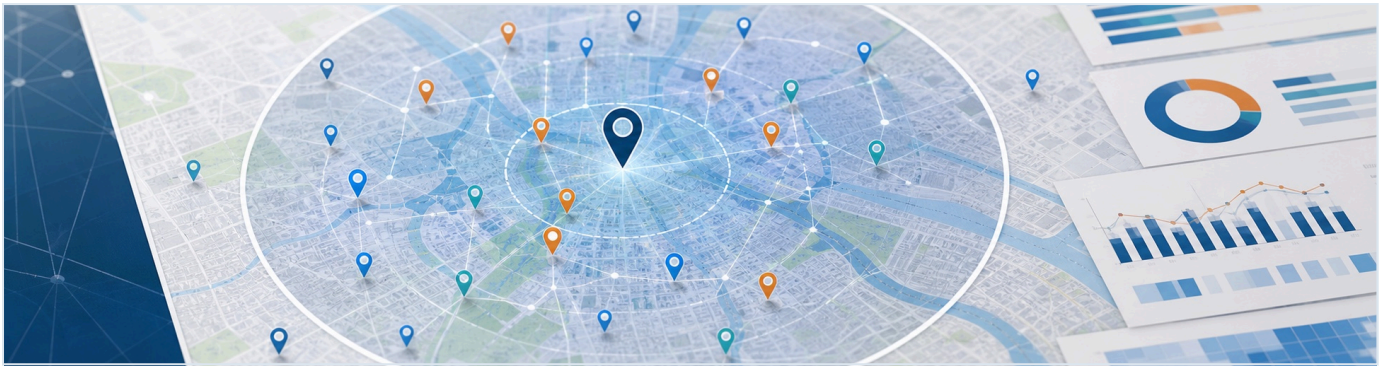


2021年経済センサスの500mメッシュを対象地点と商圏円に重ねた構成です。

HOW TO READ
このデータをどう読むか

従業者数と事業所構成は、居住人口とは別の昼間需要レーンです。昼間人口22,140人は夜間人口18,420人を上回り、昼夜間比は120.2%です。QSRでは昼食、移動中、交代勤務の前後、持帰りの短時間利用を考える材料として使います。ただし従業者数は来店客数ではないため、事業所の入口、休憩時間、道路横断、対象地までの実移動を重ね、営業時間と導線が需要を取り込めるかを確認しましょう。

競合・補完施設カルテ



同一ブランド	競合候補	補完施設	最寄競合
取得済	取得済	取得済	取得済
2件	9件	17件	430m
半径1km	半径1km	半径1km	対象地点から

施設カテゴリ別カルテ

カテゴリ	件数	役割	次の確認
同業態	3件	直接比較対象	時間帯・価格・進入方向
近接飲食	6件	時間帯・利用場面で重なる	持帰り・短時間需要
生活利便	8件	反復来訪の補完	営業時間と回遊導線
医療・教育	9件	用務需要の補完	平日・休日の時間窓

近接POIリスト

施設	距離	分類	判断への影響
ロードイーツ 北環状店	430m	直接競合	車利用と短時間需要が重なる
彩央中央スーパー	180m	補完	日常買物の来訪理由
市立総合クリニック	360m	補完	平日用務需要
彩央学園	510m	補完	放課後・家族需要

HOW TO READ

このデータをどう読むか

競合件数は多い少ないだけで判断せず、需要の存在と役割重複を確認する材料として使います。同業態でも価格帯、時間帯、進入方向、店内・持帰り構成が異なれば役割は変わります。最寄競合430mという距離だけで減点せず、対象地と競合前を同時刻に観察し、店舗別の選ばれ方と補完施設からの回遊を提供資料と現地で確認しましょう。

SAMPLE

交通・導線・土地リスクカルテ



道路交通量	最寄駅距離	公示地価	浸水想定
取得済	取得済	取得済	取得済
28,400台/日	640m	185,000円/m²	0.5m
代表区間 / 2021年	対象地点から	近接標準地 / 2026年	公開ハザード

交通・道路

指標	確認結果	基準	次の確認
代表道路交通量	28,400台/日	環状2号線 / 2021年	方向別交通とピーク滞留
最寄駅距離	640m	直線距離	徒歩導線と横断
入口方向	主要方向に接点	公開地図	右左折と信号位置
退出動線	複数方向候補	公開地図	ピーク時の滞留
歩行者・自転車	生活施設側に接点	公開地図 / 現地確認	横断位置・駐輪・入口分離

土地・施設・リスク

領域	確認結果	状態	次の確認
公示地価	185,000円/m²	参考	賃料・契約条件と分離
用途・土地	生活サービス立地	取得済	看板・改修制約
浸水想定	0.5m	検証	保険・避難・設備配置
営業継続	復旧条件は資料確認	現地確認	責任分界と復旧手順
設備配置	受電・給排水位置は図面確認	提供資料確認	浸水時の停止範囲と移設余地

HOW TO READ

このデータをどう読むか

交通量は需要の母数、駅距離は補助接点、土地・災害条件は制約として別々に読みます。QSRでは28,400台/日の交通量をそのまま来店可能性とみなさず、主要方向からの視認、右左折、信号位置、入口滞留、退出の成立を現地で確認します。浸水想定は立地評価の減点だけで終わらせず、受電・設備配置、保険、避難、復旧時の責任分界まで物件資料と照合しましょう。

出典・推計処理

取得状況と推計処理

指標	区分	年次	処理・制約
対象地・商圏範囲	取得済	2026	住所・座標・標準範囲を直接確認
地図・メッシュ図	取得済	2020-2026	対象地点・商圏円・主題図を生成
人口・世帯	推計	2020	統計メッシュから商圏換算
年齢構成	推計	2020	5歳階級と年齢区分を商圏換算
将来人口	推計	2025 / 2040	年次別観測を分けて増減を算出
昼間活動	推計	2020	昼間人口と昼夜間比を商圏換算
働く人・事業所	推計	2021	経済センサスから商圏換算
駅・鉄道	取得済	2024-2026	最寄駅距離と乗降規模を確認
道路・交通量	取得済	2021-2026	道路構造と代表区間交通量を分離
競合・補完施設	取得済	2026	個票から件数・距離・役割を整理
消費参考指標	参考	2025	行政区参考値として商圏値と分離
土地・災害	取得済	2026	公示地価と公開ハザードを確認
スコア・証跡	推計	2020-2026	profile ScoreResultと出典・品質を記録

標準の推計処理

商圏換算

メッシュと商圏円の重なりを計算

公開統計メッシュを重なり面積に応じて半径別に換算します。

年次管理

指標ごとに基準年を保持

人口、将来人口、経済センサス、交通量の年次を混同しません。

利用区分

取得済・推計・参考を分離

直接値、商圏換算値、代替指標を同じ確度として扱いません。

SAMPLE

出典・制約・免責

使用データと制約

出典	年次	最新利用可能版	確認日	粒度	用途・制約
ロードイーツ公式ブランド・店舗仕様情報	2026	はい	2026-07-11	地点	候補地情報・想定店舗機能の確認
QSR業態profile ScoreResult	2026	はい	2026-07-11	report	評価5項目、総合点、ランク、判断スタンスを正規化
e-Stat 国勢調査 2020 地域メッシュ	2020	はい	2026-07-11	500m mesh	人口・世帯・年齢・昼間人口を商圏換算
国土数値情報 500mメッシュ別将来推計人口	2025/2040	はい	2026-07-11	500m mesh	年代別将来人口を商圏換算
e-Stat 令和3年経済センサス 活動調査	2021	はい	2026-07-11	500m mesh	従業者・事業所を商圏換算
OpenStreetMap 公開地図データ	2026	はい	2026-07-11	point/road	周辺施設と道路構造の確認
国土数値情報 鉄道・駅公開データ	2024	はい	2026-07-11	station	最寄駅の位置と対象地点からの距離
令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査	2021	はい	2026-07-11	road segment	代表道路区間の日交通量
自治体・施設公式公開情報	2026	はい	2026-07-11	web	周辺変化と公開シグナル
国土交通省 地価公示	2026	はい	2026-07-11	standard land point	近接標準地の公示地価
国土交通省・自治体 公開ハザード情報	2026	はい	2026-07-11	hazard mesh	洪水浸水想定の確認

データの制約と優先順位

基準年

統計年を混ぜない

人口、経済、交通は基準年を併記します。

推計

商圏換算を明示

メッシュ値は面積按分し、直接取得値と分けます。

公開情報

物件・事業条件は断定しない

契約、設備、投資、人員は提供資料を優先します。

現地

利用可能性を確認

視認、進入、滞留、時間帯差は現地確認を優先します。

SAMPLE

資料の位置づけ

本資料は公開情報と公的統計に基づく意思決定支援資料です。契約条件、事業計画、投資判断は関係資料と専門家の確認を併用して判断しましょう。

関連ガイド

診断文脈に合うROGNALIAの公開ガイドを優先順で掲載しています。出店後の商圏変化や店舗マーケティングにも継続して使えます。

出店候補地の見方【チェックリスト付き】

商圏、導線、競合、物件条件を一つずつ確認する、立地診断の基本ガイドです。

https://rognalia.com/location-intelligence/guides/store-site-checkpoints.html

ロードサイド店舗の立地で見るべきポイント

交通量だけでなく、視認、右左折、進入、駐車、退出までを方向別に確認します。

https://rognalia.com/location-intelligence/guides/roadside-location-checkpoints.html

出店前に不動産会社・本部へ聞く質問リスト

資料だけでは判断できない条件を、質問と判断への影響を一対にして整理します。

https://rognalia.com/location-intelligence/guides/questions-before-store-opening.html

商圏分析を店舗マーケティングに活かす方法

商圏の客層と利用場面を、販促、認知、時間帯別施策へ落とし込む考え方を整理します。

https://rognalia.com/location-intelligence/guides/trade-area-analysis-store-marketing.html

SAMPLE

追加確認・再診断

提供資料や現地確認の結果を反映し、判断材料を更新します。

https://rognalia.com/location-intelligence/fc-second-opinion.html

ROGNALIA

ROGNALIA

本レポートに関するお問い合わせ・追加確認のご相談

contact@rognalia.com